



合唱団おおやま メサイアを歌う

とき 9月26日(日) 13時30分開場
14時開演

ところ 大山町民文化会館大ホール

主催/富山県・大山町・大山町教育委員会・合唱団おおやま
共催/北日本新聞社
後援/大山町商工会・JA大山中央

大山町の助成金により低料金で鑑賞できます

《プログラム》

1. 序曲 (オーケストラ)
Sinfonia
2. アリオゾ (テノール)
Comfort ye, My people
3. アリア (テノール)
Every valley shall be exalted
4. 合唱
And the glory of the Lord
5. 合唱
And He shall purify the sons of Levi
6. レチタティブ (アルト)
Behold, a Virgin shall conceive
7. アリア (アルト), 合唱
O thou that tellest good tidings
8. アリオゾ (バス)
For behold, darkness shall cover the earth
9. アリア (バス)
The people that walked in darkness
10. 合唱
For unto us a Child is born
11. 田園交響曲 (オーケストラ)
Pastoral Symphony
12. レチタティブ アリオゾ (ソプラノ)
There were shepherds abiding in the field
13. レチタティブ (ソプラノ)
And the angel said unto them
14. アリオゾ (ソプラノ)
And suddenly there was with the angel
15. 合唱
Glory to God in the highest
16. アリア (ソプラノ)
Rejoice greatly, O daughter of Zion!
17. 合唱
His yoke is easy

=== 休憩 ===

18. 合唱
Behold the Lamb of God
19. アリア (アルト)
He was despised
20. 合唱
Surely He hath borne our griefs
21. 合唱
And with His stripes we are healed
22. 合唱
All we like sheep have gone astray
23. 合唱
The Lord gave the word
24. アリア (ソプラノ)
How beautiful are the feet of them
25. 合唱
Their sound is gone out into all lands
26. レチタティブ (テノール)
He that dwelleth in heaven
27. アリア (テノール)
Thou shalt break them with a rod of iron
28. 合唱
Hallelujah!
29. レチタティブ (バス)
Behold, I tell you a mystery
30. アリア (バス)
The trumpet shall sound
31. 合唱
Worthy is the Lamb, Blessing and honour, Amen

《オーケストラ》

オーケストラ・アンサンブル金沢

オーケストラ・アンサンブル金沢は、音楽監督に岩城宏之氏を迎え、日本最初のプロの室内オーケストラとして1988年に発足、昨年10周年を迎えました。世界中よりメンバーを公募し、約40名が在籍し、その内4分の1が外国人です。また、設立当時より日本では最初の専属作曲家（一柳慧、石井眞木、外山雄三、西村朗、湯浅譲二、武満徹、黛敏郎、池辺晋一郎、藤家溪子、林光）による現代曲委嘱初演制度（コンポーザー・イン・レジデンス）を実施し、またこれらの作品を次代に引き継ぐため、「21

世紀へのメッセージ」としてCD化しております。

国内では、金沢での公演のほか、東京、大阪、名古屋においても定期公演を行い、また94年には東京にてベートーヴェン全交響曲連続公演を実施、95年より東京、名古屋にてモーツァルト全交響曲連続演奏会を行うなど国内外を含め高い評価を得ております。

また、海外での公演は、設立2年目にベルギー、フランスなど92、94、95年にはオーストラリア、ニュージーランド、シン

ガポール、インドネシアの各都市で公演、96年には2度目のヨーロッパ公演を、97年秋にはマレーシア、ドイツ、フランスの各都市で公演を、98年には中国での公演を実施、いずれも大成功をおさめております。今秋にはタイにて8度目となる海外公演を予定しております。

このような活動が認められ、94年10月「飛騨古川音楽大賞」、95年3月「出光音楽大賞」、96年5月「中日文化賞」を受賞。現在最も注目を集めているオーケストラです。

- ◎オルガン
大竹 久美
- ◎チェンバロ
松井 晃子



《指揮者》

増井 信貴



桐朋学園大学指揮科卒業。岡部守弘、斎藤秀雄、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、フランコ・フェラーラ、レナード・バーンスタインの諸氏に師事。

1978年タンゲルウッド音楽祭にスカラシップコンダクターとして参加し、同音楽祭のオーケストラを指揮。1982年にはバリ・オペラ座に招かれ、オペラ上演にかかわりつつ研鑽を積んだ。日本でも数多くのオペラ上演に参加、その手腕を高く評価された。

1989年、文化庁派遣在外研修員としてミュンヘンのバイエルン国立歌劇場に留学。ウォルフガング・サヴァリッシュ氏のもとで数多くのオペラ上演に助手として参加した。1989年、群馬交響楽団の指揮者に就任。1991年、ウィーン・フィルのメンバーで構成されるウィーン木管アンサンブルと共演。1998年2月に開催された長野オリンピック開会式の「第九」演奏においては、合唱とオーケストラをまとめる指揮者のひとりとして演奏に携わった。

得意とするオペラではこれまでに日本初演「イル・カンパネロ」をはじめ、「フィガロの結婚」「魔笛」「劇場支配人」「カヴァレリア・ルスティカーナ」などを指揮し好評を得ている。

また、NHKテレビへの出演やサイトウ・キネン・オーケストラのヨーロッパ公演に副指揮者として同行している。京都市立芸術大学助教授。

《ソリスト》

ソプラノ

金川 睦美



富山市出身。武蔵野音楽大学声楽科卒業。

ソリストとしては、ヘンデル「メサイア」をはじめベートーヴェンの「第九」、コダーイの「テ・デウム」、フォーレの「レクイエム」など。

オペラでは富山初演の「奥様女中」が日本に舞台を移した独自の解釈で好評を得たのをはじめ、第1回富山市民オペラ「手古奈」の手古奈、「コシ・ファン・トゥッテ」のフィオルデリージ、「魔笛」のパミーナ、夜の女王、「月の世界」のクラリーチェ、「椿姫」のヴィオレッタなど。今年の「県民が作るオペラ・ガラ・コンサート」では田口興輔らと共演するなど県内のオペラで中心的存在。リサイタルやミュージカルの出演も多い。

アルト

中田 勝代



入善町出身。国立音楽大学教育音楽科卒業。在学中はピアノを中山富美恵氏、声楽を小野邦代氏に師事。その後、声楽を浅岡光代氏、志村年子氏等に師事。現在は内山太一氏に師事する。

富山放送合唱団、富山アカデミー女声合唱団・同重唱団等のソリストとして活躍。そしてまた、丘声会オペラ「月の世界」「フィガロの結婚」「ジャンニ・スキッキ」他、富山市民オペラ「あまんじゃくとうりこ姫」等にも出演し、好評を博す。

入善混声合唱団、入善少年少女合唱団「くびいど」や「黒部第九を歌う会」等のスタッフとして、幅広く活躍している。「丘声会」「大地の会」会員。黒部市在住。

テノール

森清 篤実



国立音楽大学声楽学科卒業。野中匡雄氏に師事。

「魔笛」のタミーノ、「コシ・ファン・トゥッテ」のフェランド、「こうもり」のアイゼンシュタイン、「手古奈」のあざ彦等多数出演。オペラ、リートから童謡まで幅広くコンサート活動を行っている。

現在、富山市立北部中学校教諭。

バス

森野 信生



青山学院大学神学科在学中より宗教音楽合唱団に在籍し、洗足学園大学教授高折統氏に師事。卒業後、洗足学園大学声楽科入学。同専攻科在学中に、国際交流基金により、西ベルリン芸術大学給費留学。二期会に所属し、小澤征爾、秋山和慶、大友直人指揮のオペラや、バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツァルト等の宗教曲のソリストとして数多く出演。88年、前田奨学金制度によりミラノ音楽院留学中、第7回イタリアバヴィア国際声楽コンクール第3位入賞。

現在、洗足学園魚津短期大学音楽科教授、二期会会員。富山県声楽家協会会員。とやまの森歌劇団代表。

合唱団おおやま

95年8月に、大山町民を中心に結成。96年8月に第1回の「夏のメサイア」公演。以来、毎年公演を続けてきた。今年9月の第4回公演をめざして、約1年間、大山町民文化会館ホールで週1回の練習を重ねてきた。

ソプラノ

板直子・岡本 祀子・熊倉 理子・梶田 修子・高田 和美
谷崎キミ子・谷崎 千鶴・谷本真理子・津田 由香・中川 律子
橋場 映子・花崎美枝子・松井佐奈江・松井千代美・松浦美知代
宮原百合子・山崎 敏子

アルト

麻島 利子・稲垣 聖子・井上 澄子・奥野 知子・片山美富里
加藤 一美・キムリ アン チャバ・小泉 康子・柴野 里美
新村まゆみ・高井恵美子・高木 茂子・高橋 英子・仲井 葉子
野入美津恵・野上真知子・早水 淑子・平崎 康子

テノール

有沢 龍男・渋谷 秀希・谷崎 修一・東海 廉之・東福 光晴

バス

石動 孝一・大磯 覚昌・窪田 英史・根尾 亮介・野入 豊光
野尻 芳邦・松井 輝・宮元 美信・横山 研

合唱指揮 内山 太一

武蔵野音楽大学卒。ミュンヘン国立音楽大学卒。

今までにシューベルトの「冬の旅」をはじめ、ヴォルフ、シューマン等のドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。藤原歌劇団公演のオペラでは、「マダム・バタフライ」、「カルメン」、「ジャンニ・スキッキ」、「仮面舞踏会」、「ボエム」等に出演。1991年にシューベルトの三大歌曲集「冬の旅」、「美しき水車小屋の娘」、「白鳥の歌」の連続演奏を行う。1993年再度一年間ドイツに留学。白井光子、ハルトムート・ヘル両氏のもとでドイツ歌曲の研鑽を積む。発声をアンナ・シェーファ一女史に学ぶ。元武蔵野音楽大学講師。

現在、洗足学園魚津短期大学声楽講師。

コレペティトウアー 板 直子

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。山崎道子、三津橋文子、森山ゆり子諸氏に師事。

1993年より板直子&長崎裕子アンコール・ブリュピアノデュオコンサート（第1回～第4回）を開催。1994年、第2回国際ピアノデュオ・コンクール（於東京）本選出場、入選。その他、むさしの会、市民ホールコンサート、黒部名水の里第九コンサート等に出演。また、声楽や器楽の伴奏も行う。

現在、(株)開進堂楽器音楽教室ピアノ講師、富山市医師会看護専門学校非常勤講師、国際ピアノデュオ協会会員、富山県ピアノ指導者協会会員、合唱団おおやまピアニスト、アンコール・ブリュ主宰。

楽曲解説

オラトリオ「メサイア」は、1741年、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル（1685～1759）が、ロンドンにおいて作曲し、翌1742年、アイルランドの首都ダブリンにおける慈善演奏会で初演された。

「メサイア」とは、ヘブライ語の「メシア」の英語読みで「聖油を注がれた者」、すなわち「救世主」（＝キリスト）の意味である。この台本は、ヘンデルの友人であるチャールズ・ジェネンスが、主に旧約聖書の預言と詩篇、および新約聖書の使徒書簡から選び出した聖句を編纂したものである。「メサイア」は3部から成り、第1部は救世主（メサイア）の来臨によって、世の救いが成就するという旧約の預言と、その神の計画の実現、第2部は、イエスという犠牲による救いの成就と、それを拒否する人間の罪の姿、第3部は、イエスの復活と、それによってもたらされた永遠の生命に対する感謝と讃美を表している。他のオラトリオ

と違い、登場人物は一切存在しないし、劇的要素もない。

全編のクライマックスは、やはり、第2部の終曲である「ハレルヤ・コーラス」であろう。初演後のロンドンでの演奏会で、時の国王ジョージ2世が、ハレルヤに感動のあまり起立して聞いたことはあまりに有名な故事である。

全編52曲のうち、今回は合唱曲を中心に31曲をお届けする。クリスマスの頃に演奏されることが多い「メサイア」だが、今年は〔9月のメサイア〕でこちよい秋のひとつきをお過ごしください。

Glory, to God in the highest, and peace on earth,
goodwill towards men!

いと高きところには神に栄光あれ、地には御心に適う
人に平和あれ。